

最優秀作品賞
受賞作品集
2023

こどもたちの
未来のために…

ファミリーマート
ありがとうの15th
手紙_{てがみ}コンテスト





ファミリーマート ありがとうの手紙コンテスト2023

今年度15回目となる本コンテストは、夏休みの前に全国約1万9千校・約605万児童に向けてご案内し、結果7月1日から9月30日の間で、応募総数6,490通にも上る心温まる作品をいただきました。甲乙つけがたい力作ぞろいの中から選ばれた、文部科学大臣賞、全国7つのブロックを代表する最優秀作品賞全20作品、15周年特別賞全7作品、審査員特別賞全28作品、学校団体賞全14校・団体をご紹介します。なお、本コンテストの詳細報告は、ファミリーマートのホームページでもご紹介させていただいております。
(https://www.family.co.jp/sustainability/children/thanks_letter.html)

- ★ 文部科学大臣賞受賞作品紹介 …………… 4
- ★ 15周年特別賞・審査員特別賞受賞作品紹介 …………… 25
- ★ 最優秀作品賞受賞作品紹介 …………… 5
- ★ 学校団体賞受賞校・団体紹介 …………… 32



ファミリーマートのサステナビリティ

ファミリーマートに関わるすべての皆さまと「コンビに」なり、持続可能な社会の実現に向けたファミリーマートらしいサステナビリティの取り組みを推進していきます。

- ★ サステナビリティ …………… 33

実施概要

- ▶ **応募期間** 2023年7月1日(土)～9月30日(土)
- ▶ **応募資格** 小学校1年生～6年生
- ▶ **審査** 一次、二次、最終審査会と3回の審査を経て決定
- ▶ **最終審査会** 2023年12月12日(火)
- ▶ **文部科学大臣賞** 全国から1名
- ▶ **最優秀作品賞** 低学年部門(1・2年生)、中学年部門(3・4年生)、高学年部門(5・6年生)部門ごとに審査 合計20名
※全国を7ブロックに分割し、審査を実施
- ▶ **15周年特別賞** 各ブロック1名 合計7名
- ▶ **審査員特別賞** 各ブロック4名 合計28名
- ▶ **学校団体賞** 各ブロック2校・団体 合計14校・団体
- ▶ **応募総数** 6,490通



ご報告にあたって

『ファミリーマートありがとうの手紙コンテスト2023』に作品応募をいただき先生方、保護者の皆さまをはじめ関係各位に改めて御礼申し上げます。

本コンテストは、“地域社会を「ファミリー」(家族)”と考えるファミリーマートが「ファミリー」(家族)の未来を担うこどもたちの成長を応援することを目的に2009年よりスタートし、この度節目の15周年を迎えることができました。これまでの継続した取り組みが評価され、昨年「文部科学大臣賞」を授与させて頂いております。

ご応募いただいた作品には、ご家族、友人、先生など自分のまわりの人との“つながり”を表現した素晴らしい作品が当初より数多くございましたが、コロナ禍を経て、自然や環境、住みやすい街にも目が向けられ、SDGsの視点からも“ありがとうの気持ち”をつづる作品が増えたことも印象的でした。

待望のポストコロナ時代を迎え、制限のない自由な学校生活を謳歌するこどもたちの瑞々しい感性を、「自筆で」「手書きで」こどもたちが書いた手紙から感じていただき、加えて、手紙というコミュニケーションが持つ温かみを再認識する機会ともなればと願っております。

ファミリーマートは「あなたと、コンビニ、ファミリーマート」のもと、地域に寄り添い、お客さま一人ひとりと家族のようにつながりながら、便利の先にある、なくてはならない場所を目指しております。地域社会が「ありがとう」という素晴らしい言葉で溢れる事を切に願い、これからも皆さまに愛される企画として回を重ねて参りたいと思います。

令和6年1月 吉日

株式会社ファミリーマート 代表取締役社長 細見 研介

審査員講評



審査員長

池上 彰
ジャーナリスト

コロナ禍によるこれまでの制限がなくなった今年は、学校への感謝を綴る手紙が多かったことが印象的でした。学校に通い、先生や友人と過ごすことができる日常のありがたさをいきいきと表現しているのです。「ありがとう」を探すことが、いろいろな人に支えられ、自分は生かされていることに気付くきっかけになっています。このように素晴らしい気付きに出合った子どもたちが大勢いることをうれしく思いました。



審査員

児童文学作家、
日本児童文学者協会会員

いとう みく

身近な人や物にあてた手紙が多かったのが印象的でした。それらの「ありがとう」は、世の中で話題になるような出来事ではありません。でも私にはそのことがうれしく思えました。世界ではいまだ争いが絶えません。ロシアによるウクライナ侵攻は続いており、イスラエルとパレスチナでも多くの人々が犠牲になっています。そうした地で暮らすすらは、何に、誰に感謝を思うだろう、と考えて苦しくなりました。日々の暮らしの中で、幸せだな、うれしいな、ありがとうと感ずることができず。そんな社会が続きますようにと願わずにはいられません。



審査員

株式会社小峰書店
代表取締役社長

小峰 広一郎

手紙を書くにあたって、誰に(何に)対してありがとうの気持ちを伝えるか真剣に考えることが、子どもたちにとって大切な時間であったことが感じられました。立ち止まって考えることで普段何気なく接してきたことにも新たな気づきを得ることができたのではないのでしょうか。今年は家族や学校生活で接する身近な人、日常生活における感謝のほか、環境に目を向けるテーマが多かったと感じました。子どもたちのあたたかくやさしい気持ちにあふれた、たくさんの手紙に出会うことができたことに感謝しています。



審査員

作家、日本ペンクラブ
「子どもの本委員会」メンバー

野中 柊

今年もまた、ご応募いただいた手紙を読みながら、子どもたちの瑞々しい感受性がとらえた日常の風景、そして、その事ごとを綴った飾り気のない言葉に笑みを誘われたり、涙ぐんだりしました。幼く拙いからこそ、正直でごまかしのない表現に出会うと、心を揺さぶられました。私自身、当たり前のよう享受している平穏な日々の尊さについて、あらためて感謝したくなる瞬間が幾たびもあったのです。子どもたちひとりひとりが精いっぱい命を輝かせて生きていることが感じられるお手紙をお送りいただきまして、ありがとうございました。



審査員

株式会社ファミリーマート
執行役員 マーケティング本部
サステナビリティ推進部長

岩崎 浩

コロナ禍を経て、「ありがとう」の方向が、再び家族、友人、地域の方々、大切にしている物など多様な方向に向かっているのを見て、あらためて日常が戻ったことを感じました。また、水、森、空気、食べ物を大切にす気持ちなど、SDGsを意識する作品も多数寄せられ、子どもたちの「ありがとう」の対象の一層の広がりを感じさせられました。これからも様々な感謝を考えるきっかけとしていただくためにも本コンテストを継続し開催したいと考えています。

大すきなばあは入

ぼくが一年生のとき、天宮に行、てしま、たばあはに、ありがたうのイテガミを書きます。

はあはがいたくか、て一年になる、てママが言、たよ。でも、はあはのことは、人、つて、た、ほ、え、て、い、よ、はあはに公園、とか、あ、そ、い、と、こ、ろ、に、つ、れ、て、い、て、も、い、つ、こ、う、あ、し、が、た、よ、はあはの、こ、ち、の、た、い、ど、こ、ろ、の、テ、ー、ブ、ル、で、た、い、き、い、つ、を、や、て、た、の、し、が、た、よ、の、ラ、ケ、ッ、ト

の、も、ち、ち、と、が、ポ、ー、ル、を、ど、こ、に、は、あ、か、ん、す、の、か、と、か、い、ろ、い、ろ、あ、い、て、く、れ、て、あ、り、が、た、い、つ、マ、マ、が、はあはの、も、ち、も、の、中、か、り、糸、手、が、み、を、見、つ、け、た、よ、糸、手、が、み、に、は、マ、マ、さ、い、で、あ、つ、た、よ。

「こ、う、す、け、く、ん、の、た、い、ま、き、い、か、ま、か、く、よ、り、は、や、く、く、ち、の、中、」
ぼくのこと、が、書、き、て、あ、つ、て、う、れ、た、よ、大、切、に、か、ざ、つ、て、お、く、ね、は、あ、あ、へ、つ、ま、で、あ、り、か、し、う。

天宮くでは、ゆ、く、り、休、ん、で、く、た、ま、い、の、

二年 へん、し、う、こ、う、す、け、よ、り



最優秀作品賞

えんどう こうすけ
遠藤 滉介さん(2年)
本宮市立糠沢小学校

審査員から
ばあばとの思い出が丁寧に書かれている。一つひとつの出来事を具体的にしっかりと書かれており、語りかける言葉にも、ばあばへの愛情が感じられる。

近戸斤のおばあさん「としこさん」へ
禾ム(む)の家(い)の近戸斤には、おかしをくれたり
いっしょに遊んでくれるおじいさん、おばあさん
が、たくさん住んでいます。とくに一番仲良く
してくれるのがとしこさんです。

禾ムが1人(ひと)でるすばん(すばん)していると、「としこさんの
家(い)において」とよんでくれます。いっしょにおか
しを食べたり、バラスボールをします。夜ごは
んをいっしょ(いっしょ)に作る手伝いもさせてくれます。
1人のるすばんが楽しくてあつという間に時
間がすぎます。さびしくありません。

としこさんの家の庭で育てている野菜のしゅう
かくも、手伝わせてくれます。トマトやきゅうりは、
とってもおいしいです。

としこさんのむすめさんは、お茶の習い事をしてい
て、時々としこさんの家でお茶会もやります。お
茶のたて方もやさしく教えなくて、上手にな
ってうれしいです。としこさんの家の中は、お茶の良
いかわりがします。

いつまでも、禾ムがたてたお茶を食飲んで元気で長
生してほしいです。いつもありがとうとしこさん。



最優秀作品賞

かしわや あやね
柏谷 綺音さん(4年)
秋田市立外旭川小学校

審査員から

近所のおばあさんのやさしさや思いやり、嬉しかったことを具体的に表現できている。
手紙に出てくるお茶のデザインも良い。こういう社会であってほしいと思わせてくれる。

開校150年おめでとう。そして150年間子供たちを見守ってくれてありがとう。君は、ぼくが入学した時から見ているから知っていると思うけれど、ぼくが入学してからいろいろなおことがあったよ。コロナウイルスのせいで学校が休校になったり、とても悲しい事故が起きてしまったり、体育館の側にマンホールトイレができたリしたよ。ぼくが知っているのは5年半くらいだけれど、君は50年の間に名前が変わったり、戦争や校舎の火事、震災など大変なおことがたくさんあったよ。その度に学校が休みになったりして君も不安だったんじゃないかな。

ぼくは6年前の今ごろは早く学校に行きたくて、毎日あくあくしていたよ。入学してからは友達とけんかをしたり、時々先生におこられていやなこともあるけれど、毎日楽しいよ。夏休みとかの長い休みはもちろん好きだけれど、休みが続くと早く学校に行きたくなるよ。だから、ぼくはどうして学校に行きたくなるのか考えてみたよ。

学校にはちよと意地悪だったり、乱暴な友達もいるけれど、一緒に過ごしていると思っていたよりも優しい意外な

校 木



いちよう

校 章



のぼり藤

校 歌

不忘山は 峰高く
白石川は 水清し
やまと心を かたちもて
見するに 似たり
山と川

誉いやます 益岡の
輝く歴史を たどりつ
いざや学ばん もろとも
われらは この
学校に

一面が見えたり、きまぐれと思いついた友達と気が合ったりして新しい友達を作ることまでできる。そして一緒にたくさん経験や失敗をすること、今まで知らなかったことを知ることができるようから学校に行きたくなると思っただ。

学校ってきくと「学校という建物の事じ」なくて、みんなが過ごす空間のことなんだね。そして知らなかった自分を、見つける場所のかもしれないね。だから、名前が変わっても、建物が変わっても、卒業してもみんな学校が大好きなんじゃないかと思っただよ。150年間そんな大切な場所できてくれてありがとう。ぼくは今6年生だからもうすぐ卒業です。卒業の年が君の150年目なんてすごい偶然だよ。ぼくにあって一生の記念になるよ。君にとって、この6年間は10年の内のほんの少しの期間かもしれないけれど、ここを過ごした6年間はぼくにとても大切な年間で、そして、これが入学してくる子供たちにも、ぼくと同じような大切な年間で、ぼくがほしいと思います。

今までありがとう。

そして、これからよろしくね。

姜 義 恭



最優秀作品賞

こせき よしすけ
小関 義恭さん(6年)
白石市立白石第一小学校

審査員から
自分の思いだけでなく学校の歴史も一緒に振り返り、学校がどういう空間だったのかという気づきもあり、構成がしっかりしている。校歌や校章のポップアップも素晴らしい。



あたまたまのびようをへ

わたしのゆめは、まほうつかいになることです。
なげかて言おうし、空をこんで、こまそい人がいたり
たすけられるからです。

小さいころからずとかわらないゆめです。
ママにまほうつかいにならぼうほろをきいたけど、

わがりがよいとき。わがりました。
まほうがつかえないとき。わがりました。
そんなとき、10万人に1人のまたまたの
びようをえだということが
わがりました。

なんどもにゆういんして
まじゅうもたんさんしまし
た。

たいていへんてつらかったし、
今もままだなあってないけど
まほうつかいになるための
おまじないをあたえられたと
おもって、わたしはびようを

にかんしています。
びようをえのりこえられた
とき、まほうつかいにならばず

だかづあたまたまのびようをへ
ありがとう。

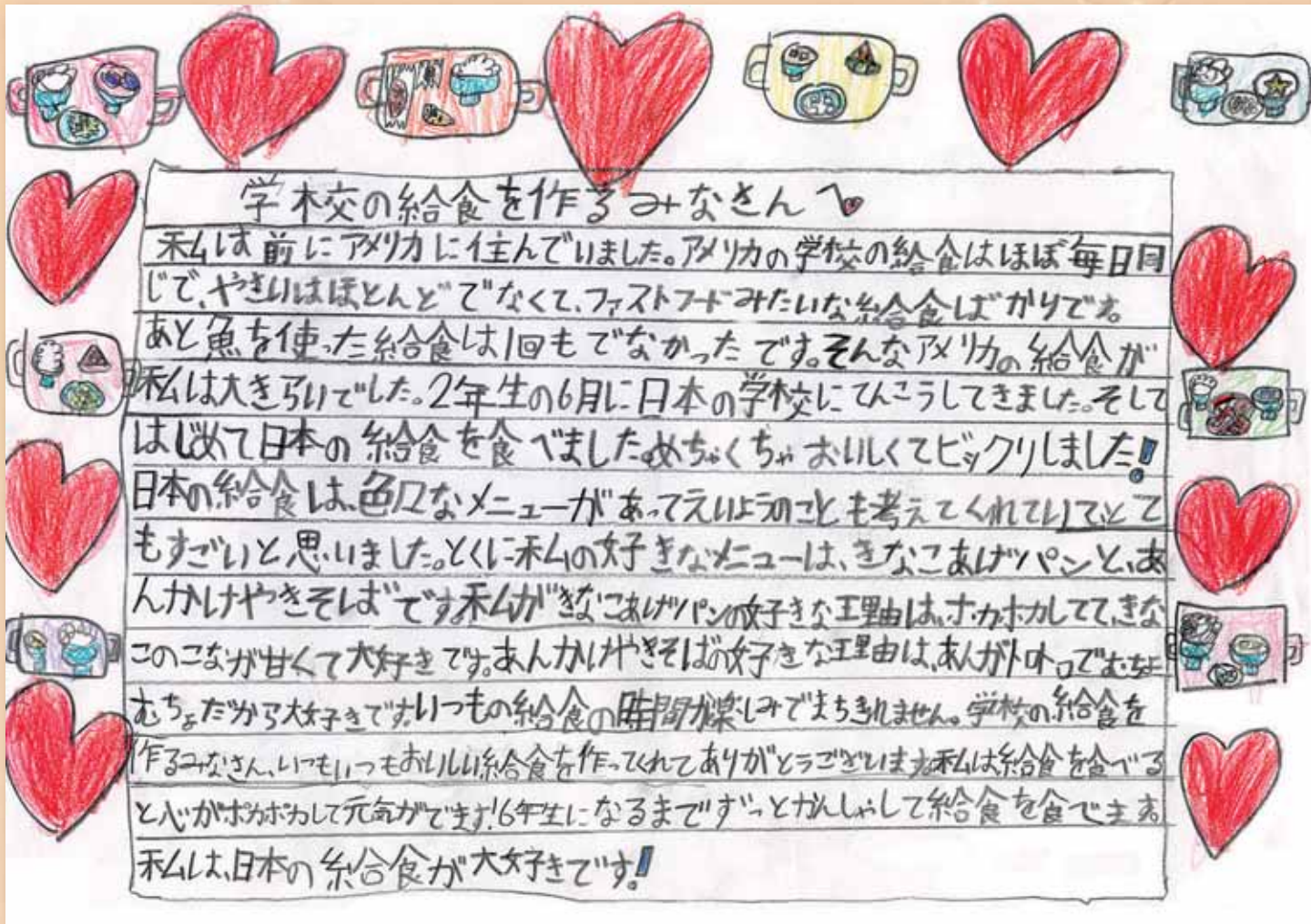
かんばってびようをえのりこえられた。
いつかまほうつかいになって、つまいている人を
たすけられたらいいな。



最優秀作品賞

こじま けい
小島 結咲さん(2年)
川崎市立旭町小学校

審査員から
病気に対して「ありがとう」という前向きな気持ちを持ち、さらに魔法使いになって困っている人を助けたいという想いに、心を打たれる。独特な表現に個性を感じる。



最優秀作品賞

かなこ
 ホノマイケル 夏奈子さん(3年)
 厚木市立三田小学校

* 審査員から *
 アメリカの給食と比べながら日本の給食をうまく表現している。毎日のおいしそうなメニューが目につくような個性的な表現もあり、給食調理員への感謝も忘れていない。



大好きな柿林のおいちゃんおばあちゃんへ
 お母さんはどんな人にも思いやりを持って接することができるの。
 バスの乗車に手づたっているおばあさんがると声をかけてお優しい
 をし道で落とし物を拾った時は自分の用事を後回しにして
 警察に届けた行っていたよ。私お母さんに「どうしてみんなの
 為に一生懸命なの」と聞いてみると「柿林のおいちゃん
 おばあちゃんが困っている人に差し伸べてみんな笑顔に
 している姿を見てきて素敵なお人ね。真似してみることにしたの。
 人間の心を読み取ることができるのは人間だけよ。」驚きの
 回答が返ってきた。それから私も年配の方や女性の人にバスの
 席をゆずるようにしているんだ。相手を思う気持ちこころも
 大切にするね。おいちゃんおばあちゃんの心の中で咲いている
 『優しさの花』お母さんの心に咲き今私の心にも咲き始めている。
 おいちゃんおばあちゃん『優しさの花』をわけてくれてありがとう。
 笑顔の輪が世界中心に広がるよう頑張るね。

雅佳より

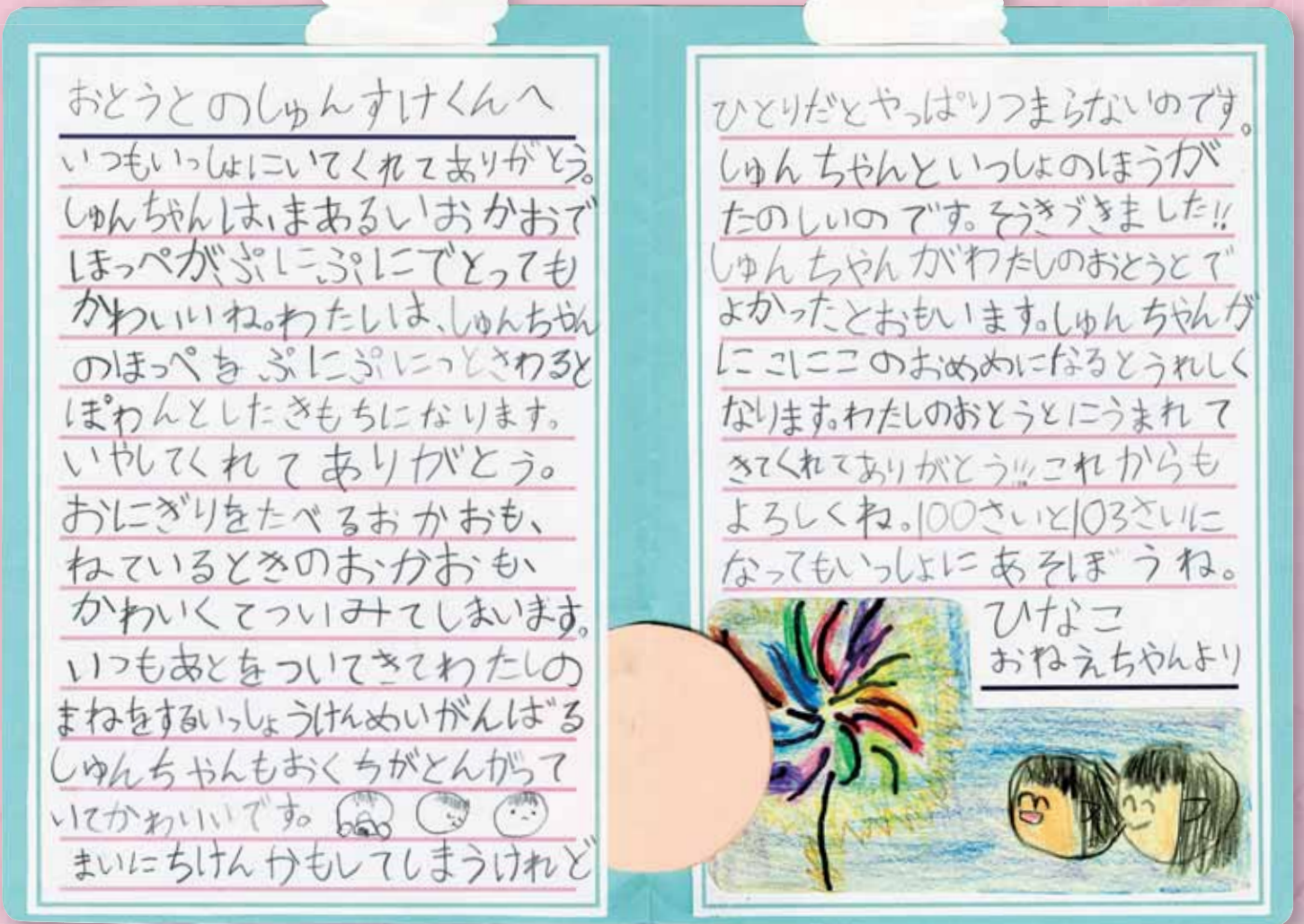



最優秀作品賞

荒井 雅佳さん(6年)
 筑波大学附属小学校

審査員から

「優しさ」がにじんできるとような手紙。優しさは受け継がれているものなのだと
 感じさせる。「『優しさの花』を分けて広がる」という考えも素晴らしい。



おとうとのしゅんすけくんへ
 いつもいっしょにいてくれてありがとう。
 しゅんちゃんはいまあるいおかおで
 ほっぺがぷにぷにですとでも
 かわいいね。わたしは、しゅんちゃん
 のほっぺをぷにぷにとさわると
 ほわんとしたきもちになります。
 いやしくてありがとう。
 おにぎりをつたべるおかおも、
 ねているときのおかおも
 かわいくてついみてしまいます。
 いつもあとをついてきてわたしの
 まねをするいっしょけんめいがんばる
 しゅんちゃんもおくちがとんからで
 いてかわいいです。 
 まいにちけんかもしてしまふけれど

ひとりだとやっぱりつまらないのです。
 しゅんちゃんといっしょのほうが
 たのしいのです。そきぎきました!!
 しゅんちゃんかわたしのおとうとで
 よかったとおもいます。しゅんちゃんが
 にこにこのおめめになるとうれしく
 なります。わたしのおとうとにうまれて
 きてくれてありがとう!! これからも
 よろしくね。100さいと103さいに
 なってもいっしょにあそぼうね。

ひなこ
 おねえちゃんより



最優秀作品賞

こばやし ひなこ
小林 日奈子さん(1年)
 前橋市立桃川小学校

審査員から
 弟に対する想いが表現力豊かに書かれ、愛情いっぱいの手紙になっている。仕掛けも工夫がなされていてとても良い。年相応の素直な表現もあるが、年齢以上の表現力を感じる。

NICUのみなさんへ

生まれてから三か月弱、NICUのみなさんにお世話になりました。ぼくは今小学四年生です。元気に楽しくすごしています。

この間、生まれてから退院までの言の葉ノートを初めて読みました。おごしさんが毎日書いてくれたノートです。写真はたくさんぼくや父母へのメッセージもありました。手型や足型もあって本当にぼくのかなと思うくらい小さかったです。こきょう器も点てきつけて保育器に入ってるすがたにおどろきました。昔のぼくはいろいろ大変そうでした。

父も母も心配していたそうです。本当に退院できるかなと不安だったそうです。でもいつNICUに行ってもみなさんはやさしくおかえいれしてくれたそうです。ぼくの成長したところやがんばっているところを教えてくれてうれしかったです。

ぼくのことや家族のこと大切にしてくれてありがとうございました。ぼくはこれからも前向きにがんばります。NICUのみなさんもがんばってください。

日野下晴人より



最優秀作品賞

ひのした 晴人さん(4年)
佐倉市立印南小学校

審査員から

出生時にNICUへ入っていた頃の様子を知り、その頃の自分に驚き、スタッフの方から親切にもらったことへの感謝が丁寧に表現できている。過去と現在の手形の対比も良い。

郵便配達のみなさんへ

いつもみんなのために、郵便配達のお仕事をしてくださりありがとうございます。
熱中症けいかいアラートかでている猛暑の日も、雨風が強い、台風の日も、寒さでこごえる、大雪の日もコロナで外出をひかえている日も日々、配達の仕事をしてくださるおかげで郵便や荷物が届く、心配をすることか、ありません。とても感謝射しています。ありがとうございます。



郵便配達員のお父さんへ

今年、私がお父さんのことを、とても心配する、大事件かおきました。
それは、郵便配達の仕事をしている時に後ろから、車にぶつけられて、足を数カ所骨折してしまつたことです。
その話をはじめて聞いた時、私はお父さんの足は本当に治るのか、とても心配しましたが、絶対に泣きませんでした。なぜなら、お父さんが私の泣き顔を見たら、自分のけかより私のことをとても心配してしまうからです。
そんなやさしいお父さんが私はとても大好きです。そんなやさしくて大好きなお父さんにお原いかあります。小学校最後の運動会で、お父さんといっしょに親子競技に出られませんでした。いっしょに走れなかったことがとても残念です。
足が治ったら、私と元気いっしょに走ろうね。最後に、どんな時でも、い、きますと言、て仕事に行くお父さんは、とてもか、いいです。体に気を付けて安全にお仕事かできるよ、い、いつも心から祈っています。今日も、お仕事、あつかれ様でした。



最優秀作品賞

もりやま ^{みあ} 森山 心愛さん(6年)
常陸太田市立峰山小学校

審査員から

父親の前に郵便配達の方への感謝を先に述べる二段階の構成がよく練られている。
父に心配させまいとする姿、父への思いやりも好ましい。手紙の仕掛けも上手。



校長先生へ

毎朝、おうたんほじうのところに立って学校にとう校するみんなをみまってくれる校長先生。大きな声で「おはようございます」とあいさつしてくれる校長先生。雨の日も風の強い日も、毎日おてみんなをみかえてくれる校長先生。わたしは朝ねむかったり学校に行く足がおもたい日があります。でも、校長先生がやさしく一人ひとりにあいさつをしているすかたをみると「今日も一日がんばろう」と



いう気持ちになります。あいちんは交通じこの9たいまち。みんなが安全に学校に行くためにみまってくれる人たちがいるから、わたし交通ルールをしっかりとります。校長先生、これからもう本に気をつけてみまもりおねがいします。そして、毎日元気にになれるパワーもとどけてくれてありがとうございます。

もみじり



最優秀作品賞

ひらやす もみじ
平安 紅葉さん(2年)
 豊橋市立羽根井小学校

審査員から
 横断歩道で毎朝見守ってくれる校長先生への感謝の気持ちが伝わってくる。
 カードになっていて、開くと子どもたちの明るい笑顔、校長先生の似顔絵も良い。

「お母さんへ」

「わたしのお母さんはいつもうるさいです。例えば、学校のじゅんびをしなったり、ケムはかりしているとおこてきます。でもわたしは「うるさいなあ」と言て、別にいいやと思てしまいました。四月から弟が保育園に入りました。お母さんが仕事を始めました。お母さんは朝早く起きてせんたくをしてわたしと弟のじゅんびをして、朝ごはんを用意して、ゴミを出して、とてもいそがしそうに仕事に行きます。今年の夏休み、わたしは初めて一人でおるすばんすることになりました。いつもはうるさいなあと思ていたのに、お母さんの声が聞こえないのがとてもさみしいなあと思しました。わたしは帰てきたお母さんとぎゅーとします。

「でやろうと思いましたが、でも、もう少しだけあまえさせてね。」

はなより



最優秀作品賞

おくはら はな
奥原 絆花さん(4年)
松本市立鎌田小学校

審査員から

お母さんはいつもうるさい、という出だしから、実は…という構成が素晴らしい。心からの本音で書き、最後の「あまえさせてほしい」というフレーズが素直でけなげで良い。



おじいちゃんへ

毎年メロンを作ってくれてありがとう。今年のメロンもほっぺたが落ちそうなくらい最高にあまくておいしかったよ。おじいちゃんは春ごろから畑をたがやしていたよね。土は心かふかかになってそこにメロンの苗を植えていたよね。おじいちゃんの白い服が茶色になって、おじいちゃんは汗だくでがんばってくれていたことが分かったよ。おじいちゃんはメロンを植えた後もつかれた彦貝もしないでわたしに「今年のメロンはおいしくなるぞー」とか「いろんな種類別のメロンを植えたからな」とかはりきって言っていて、すごい楽しみになったよ。夏休み中に大きくなったメロンをとってきてくれて食べた時に おじいちゃんが笑顔でわたしを見ていたね。わたしが「おいしい!!」と言ったらおじいちゃん「そうか、そうか」と言って笑顔で喜んでくれたよね。おじいちゃん、本当に家族のためにおいしいメロンを作ってくれてありがとう。来年はおじいちゃんとわたしでいっしょにメロンを作りたいな。 実桜より



最優秀作品賞

よしおか みお 吉岡 実桜さん(5年)
松本市立梓川小学校

審査員から

メロンの絵が緻密で素晴らしい。おじいちゃんのメロンのおいしさが想像できる。栽培するおじいちゃんの描写も細かくて、明るさと生命力にあふれている作品。



「ありがとう！バクテリアさん！」
 ぼくは、ずいぶんバクテリアのことをわかって
 とをやる虫だと思っていました。でもそれは
 まちがいでした。ぼくは、夏休みにしようか
 そらの点け人にきてくれたおじさんといっしょ
 よにマンホールの中をのぞきました。スカム
 という黄色い色のどろどろしたものがあつて、
 つくりしました。おいをかいてみたけど、
 思ってたよりよくありませんでした。おじさ
 んは、「くさくないのはバクテリアのおかげ
 だよ。この中にバクテリアがいっぱいすんで
 いて、きみたちのうんちやおしっこを食べて、
 むがいであんぜんな水にしてくれているんだ
 よ。」と言いました。ぼくは、人間のくらしの
 ためにはたらいてくれているバクテリアがい
 ることをはじめに知りました。これです。
 とぼくたちのてきだと思っていて、めいわ。
 バクテリアさん、水きれいにしてくれてあ
 りがとう！川や海にすんでいる魚たちもよう
 こんでいます。これからよろしくね！



最優秀作品賞

延與 侑一良さん(2年)
 智辯学園和歌山小学校

審査員から
 バクテリアが本当は有益な存在という気づきを丁寧に表現している。知る喜びと驚きが生き生きと伝わってくる楽しい作品。イラストも色使いや力強さが素晴らしい。

自分へのありがとう

遠どう 夏キ

わたしは今年からしえんキョウにい入りました。しえんキョウのじゅぎょうで自せん感じょうという言葉を知りました。自せん感じょうというのは、自分を大切に思う気持ちのことです。それを聞いてわたしはそんなこと考えたことなかったなと思いました。



先生がピンク色のハートの形をした紙をくばりました。その紙に、

自分のいい所を書きました。

「いい所は、あまり思いうかばなかったけど、書いているうちに次々とい

い所が出てきました。こんなにわたしの

いい所があるなんておどろきました。

わたしはずっと周りの人たちが、

わたしを、でもこのじゅぎょうをうけて、

わたしがまたいいんだなと思いましたが、

はじめて自分について、いつもがんばってくれてありがとうと思えました。



最優秀作品賞

えんどう なつさ
遠藤 夏希さん(3年)
大津市立仰木の里東小学校

審査員から

「自尊感情」という言葉をきっかけに自分のいいところに気づき、自分を大切に思う気持ちが芽生えたことが丁寧に表現されている。自分への感謝に気づける授業も良い。

和田先生へ

私は先生のクラスになれて今、凄く毎日が楽しいです。去年までは「ずっと夏休みだったらいいのにな」と思う事も多かったけど今は早く夏休みが終わって欲しいって思います。沢山お礼が言いたい事があるけど一番は「百人一首大会!!」先生が用意してくれる1位と2位のメダルと賞状がどうしても欲しくて、お母さん達が「もう疲れた」と言ってもお願いして家族みんなで練習をしています。3人分の百人一首を削ってくれたり、夏休みには練習会をひいてくれたり、先生はいつ寝ているんだろかと思う事はばかりです。百人一首大会で負けて泣いてしまった子には、良く頑張りましたね。こういう経馬券をひましかったごすと声をかけている先生を見て、「かっこいい。さすが和田先生」と思いました。九月にみんなが先生が作ってくれたオリジナルTシャツを着て公式戦に行く事が今の一番の楽しみです。全然先生への「ありがとう」が書ききれないけど、五年生が終わってしまう事が一番の悩みです。大人になるまでずっと先生のクラスがいいよー。
和田先生いつもありがとう。

森 絢菜より

ちはやぶる
神代も聞かず
竜田川



最優秀作品賞

もり あやな
森 絢菜さん(5年)
大阪市立西九条小学校

審査員から

百人一首の楽しさをおしえてくれた先生への感謝の気持ちが、具体的に書かれた様子からしっかりと感じられる。素晴らしい先生ということがよく伝わる。デザインも良い。

ぼくは本を読むのが好きなので

よくいく
家のちがくの

図書館のしくいんさんへ

3つのありがとうのこじば★

★すごくたくさん本を毎日きれいに
ならべてくれてありがとう。みんなが
かえた本をじゅんばんにならべる
のは、大へんだと思います。いつ
もさがしやすくうれしいです。

★ぼくのさがしている本の場所を
やさしくおしえてくれてありがとう。
分からない時、「ここだよ」とその
本の場所につれてくれるので、
いつも図書館にいらると嬉しい
です。

★本のならべ方をくふうしてくれて
ありがとう。年れいに合うように
じゅんばんにならべてくれていて、
ぼくの妹も好きな絵本を見つけやす
いです。楽しい本やおすすめの本
のコーナーも作ってくださり、
行くたびにワクワクします。

ぼくは、色々な本に出会える
図書館が好きです。これから
たくさんのおもしろい本を
読みたいので、しくいんのみ
なさんよろしくおねがいします。



最優秀作品賞

たまき こうた
玉置 晃汰さん(2年)
徳島文理小学校

審査員から
読書好きならではの視点で、職員の方々の工夫に対する感謝がうまくまとめられている。感謝のポイントを3つにまとめたというアイデアが良い。



じいじへ



ありがとう



賞



木のまじゅうつみたないじいじに「ありがとう賞」をおくります。じいじのなかの家は、台風でしん水して、こわした方がいいとまで言われた家でした。でもじいじはみんなの思い出が詰まった家をあまりめずりに直しました。その上、たくさんの木を使って、音楽の聞ける部屋や、ひのきぶろ、バーベキュー小屋をユツユツ作ってくれました。今はサウナ室を作っているね。わたしは進化していく家を見て、こっふんするよ。そんなわたしを見て、じいじがニコニコしているの気づいているよ。じいじは、家にもわたしにも笑顔とパワーをくれます。そんなじいじにどうして木が好きなのか聞いた時、「にんべんに木と書いて「休」。じいじは木を使っていると心が休まるんだよ」と、教えてくれたよね。だからわたしもこの家が落ち着くんだと思った。たし、木が大好きになったよ。じいじが家と家ぞくのことを大切に思ってくれる気持ちとあまりめない強さのおかげでみんなが集まれる楽しい場所ができました。じいじ、本当にありがとう。ずっと元気でいてね。彩より



最優秀作品賞

加藤 彩さん(3年)
徳島文理小学校

審査員から
思い出が詰まった家を素晴らしい家に直す様子が物語のようで読み応えがある。魅力的なじいじの人柄が伝わり、幸せに満ちあふれている。「休」についての言葉が心に残る。

小学校で出会った上級生、下級生へ

ぼくはひとり子だ。1年生の頃、入学して授業はきちんと分かるか、友達是可以、不安なことだらけだ。周りの人たちは、お兄ちゃんやお姉ちゃんと一緒に登校していたり、休み時間も遊んでいたりと、兄弟がいる人がとてもうらやましかった。でもすぐにぼくにも頼れる存在ができた。それは当時の6年生だ。見上げるほど身長も高く、優しくかまってくれた。学校での行事はもちろん、給食や校庭などでもたくさん声をかけてもらったり、困っている時助けてもらったりした。ぼくは生まれて初めて「お兄ちゃん」ができたように感じた。それからというもの「お兄ちゃん」「お姉ちゃん」とよべる存在が増え、いつからか、ぼくも誰かのことを支えられる。

か、それで「お兄ちゃん」になりたいと思った。

5年生のある日、1年生がたくおん遊寄、てまてくれて、「お兄ちゃん」と言われた。ぼくは1年生がとてもかおいくて、そんな風に言われて少し照れくさかったけれど嬉しかった。もし、かりしなれないとも思った。6年生になる時、ぼくが1年生の頃におこられた6年生のよれになりたいと背筋がピンと伸びる気持ちがあった。こんなぼくのことを頼ってくれたり中には涙が流れていて言ってくれた人もいる。ぼくは、小学校で今まで上級生にしてもらったことや優しさを全部下級生にしてあげたい。ぼくを見て、がっかりされないような、優しく強い6年生になりたいと思う。改めてこの6年間で、ぼくを支え、励まし、勇気をくれたり、笑らせてくれた、成長させてくれた、出会った全ての上級生、下級生に心からありがとうと言いたい。

顔にな

らせてくれた、成長させてくれた、出会った全ての上級生、下級生に心からありがとうと言いたい。

岡本篤典



最優秀作品賞

おかもと あつり
岡本 篤典さん(6年)
 徳島文理小学校

審査員から

ビジュアルの工夫も素晴らしいが、上級生下級生との交流により責任感のある男の子に成長していく様子が読み取れる。自分の目指す姿、真っすぐな気持ちが伝わってくる。

住みやすいくらしを支える人へ
 始良小学校 四年 石原田 駈
 家族で出かけた帰り道に、道をふさいでい
 る車があった。ゴミ収集車だ。二人の作業員
 の人が、汗だくの顔でゴミをトラックにつみ
 こんでいた。ぼくは、大変そうだと思った。
 ゴミは重いし、におうし、きたない。そう思
 っていたとき、あの人たちがいるから、みん
 な気持ちよく生活がいきると、父から教えて
 もらった。みんなが嫌だと思いう仕事を、毎日
 頑張^つてしてくれる人がいることを知^つた。
 ぼくは、その人たちが少しでも気持ちよく
 仕事ができるように、ごみの出し方を工夫し
 たい。できるだけ小さくしたり、分別したり
 けがをしないように危険なものを入れたりし
 ないようにする。ぼくができることをして、
 感謝の気持ちを届けたい。この気持ちを忘れ
 ずに、住みやすい町にするために自分に何が
 できるかを考えていきたい。作業員の人たち
 へ、いつもありがとうございます。

20×20



最優秀作品賞

いしはらだ かける 石原田 駈さん(4年)
始良市立始良小学校

審査員から
 汗だくでゴミ収集作業をしている方たちを見て、言葉でお礼を言うだけでなく、自分
 ができることをして感謝の気持ちを伝えたいと考えたこと、父の言葉がとても素晴らしい。

ありがとう けいぞうくん

黒木 綺嬉

ことしの夏休みは、一生わずれてはいけない夏休みになりました。それは小さな男の子にだいじな命をもらったからです。わたしは、生まれてからすぐにじんぞうが悪いことがわかりました。ママはずっとないていたそうです。1さいくらいから、ふくまくとうせきがはじまりました。小学1ねんせいとき、わたしはくすりのふくさようで、はが黒くなり、みんなから「おばけ」といじめられました。それで、学校にいきたくなくなりました。4ねんせいとちゅうまでいきませんでした。でも、やっぱり学校にいきたくなくなりました。それでママが、いろいろしてくれたので、あかえまつばらしえん学校にこれました。

学校にこれるようになって、とてもうれしかったです。学校は、せんせいたちがやさしくて、にんずうがすくなかったのでいくことができました。だけど、たべもののせいげんがあったので、給食がたべられなかったです。そして、おなかにチューブがあったのでプールにもはいれませんでした。とてもかなしくてつらかったです。

わたしは、びょうきがなおるには、じんぞういしょくしかないといわれていました。夏休みにふくおかのびょういんに、かぞくやしんせきみんなでいきました。だけど、わたしにいしょくできるじんぞうはありませんでした。がっかりしてかなしかったです。びょういんからかえるとちゅうに、みんなでゆうえんちに行くことにしました。わたしものしみにしていました。そのゆうえんちにおかっているとき

に、ふくおかのびょういんから、ママにでんわがかかってきました。「じんぞうがみつかったよ。」というでんわでした。

じんぞういしょくのしゅじゅつがおわったあと、わたしは、ものすごくしあわせなきもちになりました。みんなとおなじようにできるんだとおもいました。ママはずっとびょういんにいてくれました。

わたしは、だれにいのちをもらったのか、びょういんのせんせいにききました。せんせいが「小さな男の子」とおしえてくれました。わたしは、そのいのちに名前をつけました。しゅじゅつをしてくれたせんせいの名前と同じ「けいぞうくん」です。わたしは、けいぞうくんにかんしゃしています。けいぞうくんにもらったいのち。けいぞうくんありがとう。いのちをありがとう。



最優秀作品賞

黒木 綺嬉さん(5年)
宮崎県立赤江まつばら支援学校

審査員から

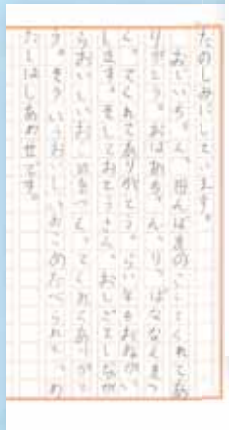
命の重さを実感させる内容。命の大切さ、命をもらうということはこういうことだと胸をつかれる。事情があり手書きではないが、文面からけいぞうくんへの想いが伝わる。

15周年特別賞・審査員特別賞



15周年特別賞

1



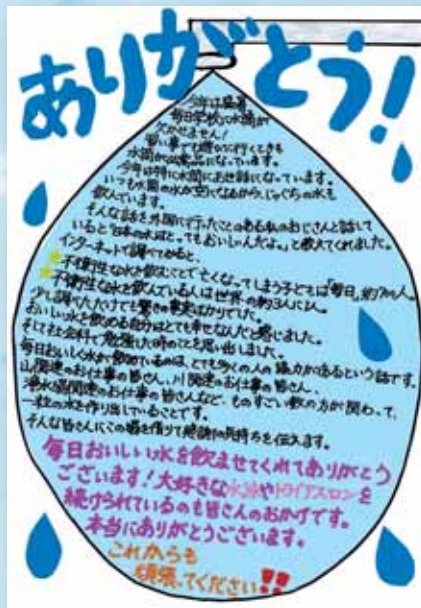
2



3



4



15周年特別賞

鈴木 航成さん(1年)
郡山市立喜久田小学校

1

松崎 円さん(2年)
田村市立船引小学校

2

柳田 栲さん(3年)
郡山市立喜久田小学校

3

熊谷 和奏さん(4年)
南三陸町立戸倉小学校

4

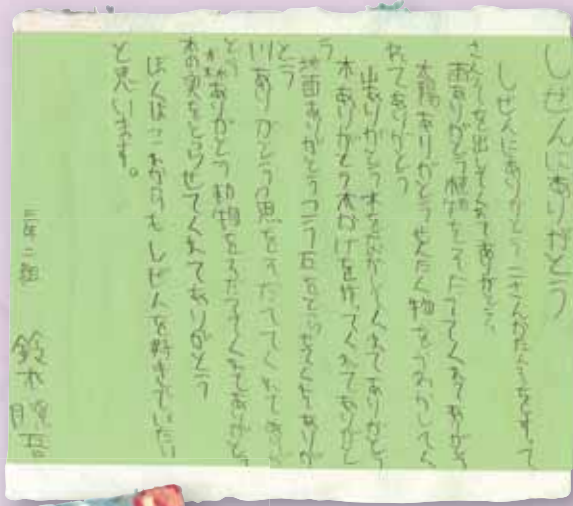
森島 南さん(6年)
長岡市立上組小学校

15周年特別賞・審査員特別賞

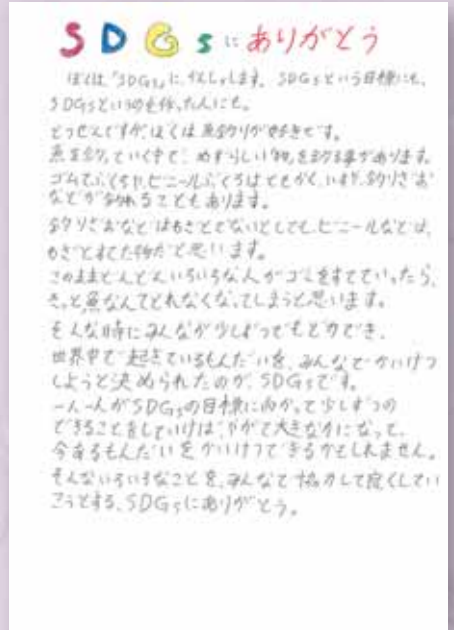
15周年特別賞



1



2



3



4

15周年特別賞

1 **後藤 奏太**さん(2年)
川崎市立西丸子小学校

1

1 **庄司 佳桜**さん(1年)
星美学園小学校

2

2 **鈴木 瞭吾**さん(3年)
横浜市立南山田小学校

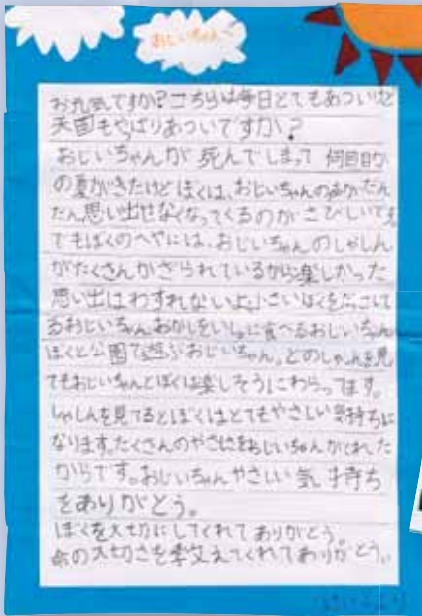
3

3 **川口 晴樹**さん(5年)
海老名市立大谷小学校

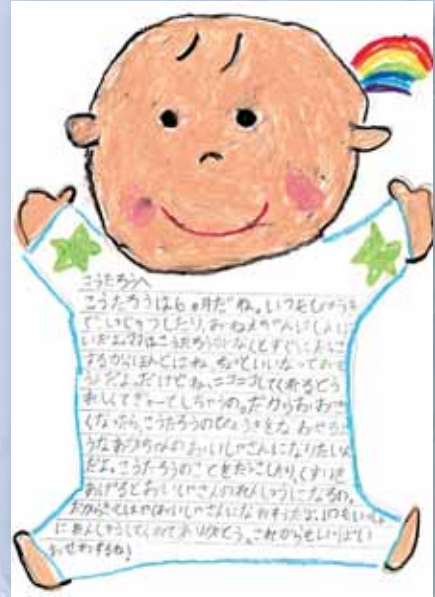
4

4 **木下 紗希**さん(5年)
サレジアン国際学園目黒星美小学校

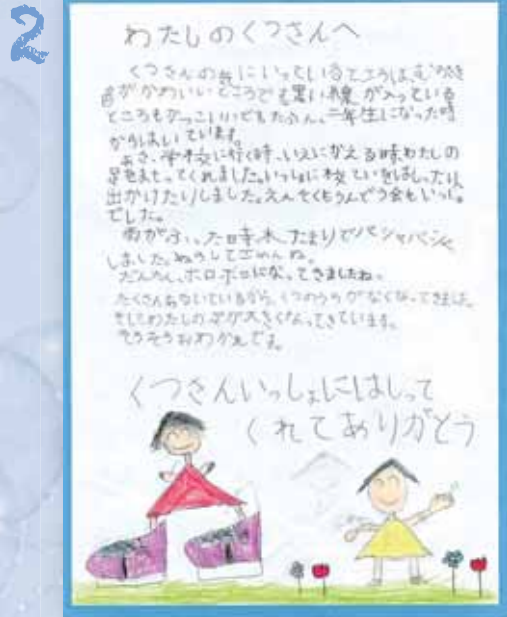
15周年特別賞・審査員特別賞



15周年特別賞



1



2



3



4

15周年特別賞

木暮 景人さん(3年)
春日部市立桜川小学校

1

小倉 千宙さん(1年)
八潮市立大原小学校

2

元井 菜々恵さん(2年)
那須塩原市立東小学校

3

中村 蒼太さん(5年)
千葉市立緑町小学校

4

山本 悠貴さん(5年)
習志野市立屋敷小学校

15周年特別賞・審査員特別賞

15周年特別賞

お盆休みには私は広島で原爆ドームと原爆資料館を見に行きました。広島に着いても原爆でどんな被害があったのか分からないくらいきれいな町だったので、あまり実感はあきませんでした。けれど、実際に資料館を見て回ると、原爆ドームに行ったりすると、一気に原爆のおそろしさが分かるような気がしました。おじいちゃんから、岡山でも大変な空襲があったと聞きました。そして広島だけではなく、たまたま70年前には日本中が全て空襲を受けてしまったのだと思います。けれど今私は、衣食住に困ることも、戦争におかされることもなく、平和に過ごすことができている。それは、この間にたくさんの方が私には想像のつかないような苦勞を重ねてきてくれたおかげだと思っています。あらためて、その人達への思いをわすれないようにすべきだと思っています。だから、その人達への努力へのありがとうを次の世代にもつなげていきたいです。



1

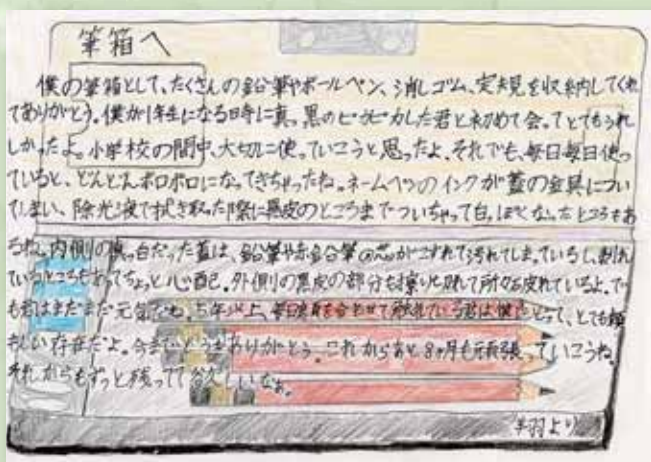
2

おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん、みんなに書いておきます。おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん、みんなに書いておきます。おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん、みんなに書いておきます。おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん、みんなに書いておきます。



3

4



15周年特別賞

中田 結さん(5年) 岡山市立妹尾小学校

1

黒岩 海さん(1年) 大竹市立大竹小学校

2

平岡 永椰さん(1年) 石井町高川原小学校

3

松村 琉花さん(4年) 徳島文理小学校

4

倉敷 翔さん(6年) 徳島文理小学校

15周年特別賞・審査員特別賞

15周年特別賞



1



2



3



4

15周年特別賞

ありむら ゆうあ
有村 友杏さん(4年)
始良市立始良小学校

1

いとう
伊藤 かなえさん(2年)
天城町立岡前小学校

2

こさか いぶき
小坂 伊吹さん(4年)
西之表市立榕城小学校

3

いのおか みれい
猪岡 美怜さん(5年)
鹿児島市立清和小学校

4

ふくおか やまと
福岡 大和さん(5年)
川南町立山本小学校



学校団体賞

応募していただいた全578校・団体から
選ばれた14校・団体です。受賞した学校から
校長先生のコメントをいただきました。



北海道
東北
ブロック

やまがたけん ながいしりつ
山形県 長井市立
とよだ しょうがっこう
豊田小学校

「ありがとう」はたった1秒の言葉かもしれないが、心をずっと幸せにしてくれる魅力ある言葉です。何気ない場面で、何気なく「ありがとう」を言えることも私たちを、これからも家庭や地域と連携しながら育てていきたいと感じます。

北海道
東北
ブロック

にいがたけん みなみうおぬましりつ
新潟県 南魚沼市立
おおさき しょうがっこう
大崎小学校

当校は今年度創立150周年を迎えました。「ありがとう」の手紙を書くことで、改めて自分自身は多くの人に支えられていることに気付いてほしいと願い、応募させていただきました。栄えある賞をいただき、感謝申し上げます。

関東
1
ブロック

かながわけん あつぎしりつ
神奈川県 厚木市立
さんだ しょうがっこう
三田小学校

心を込めてお手紙を書いて、ありがとうの気持ちを伝えるってステキですね！学校団体賞に選んでいただき本当にうれしいです。児童のみならず、おめでとうございます。温かい気持ちももっとも広がっていきますように…。

関東
1
ブロック

かながわけん かわさきしりつ
神奈川県 川崎市立
ひえぼら しょうがっこう
稗原小学校

学校団体賞ありがとうございます。子どもたちにとっても、普段何気なく使っている「ありがとう」について改めて考える機会になったことと思います。これからも「ありがとう」が響き合う学校・地域であることを願っています。

関東
2
ブロック

いばらきけん
茨城県
えどがわがくえん とりで しょうがっこう
江戸川学園取手小学校

学校団体賞の授賞、ありがとうございます。本校では、人間教育に重きを置き、他を思いやる豊かな心を育てることを教育方針としております。今後も「ありがとう」の気持ちを言葉で表現できる子どもたちを育てて参ります。

関東
2
ブロック

いばらきけん みほそんりつ
茨城県 美浦村立
おおや しょうがっこう
大谷小学校

「ありがとう」という言葉で感謝を明確に伝え、さらに、自分が誰かを支える行動ができることもたちを育てていけるよう、教職員が率先して「ありがとう」を伝えていきます。よい機会を与えていただき、ありがとうございます。

中部
東海
ブロック

あいちけん がまごおりしりつ
愛知県 蒲郡市立
かたはら しょうがっこう
形原小学校

学校団体賞授賞ありがとうございます。毎日の生活のなかで、子どもたちがたくさんの人に支えられていることを確かめる機会になりました。「感謝」の気持ちをもてる子どもたちをこれからも育てていきたいと思っております。

中部
東海
ブロック

あいちけん へきなんしりつ
愛知県 碧南市立
にしばた しょうがっこう
西端小学校

昨年度に引き続き「学校団体賞」を受賞することができ、大変光栄です。これからも「顔を見て、にこっと笑顔で、ぺっこりおじぎ」を合言葉に、あいさつの輪を広げ、思いやりを育んでいきたいと思っております。



関西
ブロック

おおさかふ おおさかきょういくだいがくふぞく
大阪府 大阪教育大学附属
てんのうじ しょうがっこう
天王寺小学校

この度は素晴らしい賞をいただきましたこと、大変光栄に思います。本校では「ありがとう」の言葉や気持ちを日々の学校生活や運営のなかで大切にしています。その思いが認められたように感じております。

関西
ブロック

ひょうごけん ひめじしりつ
兵庫県 姫路市立
じょうさい しょうがっこう
城西小学校

本校では、「ひと」のあたたかさに出会える、魅力ある学校づくりに取り組んでいます。子どもたちの心の中で「ありがとう」の気持ちが大きくふくらみ、あたたかい雰囲気が広がっていることを大変うれしく思っています。

中国
四国
ブロック

おかやまけん おかやましりつ
岡山県 岡山市立
せのお しょうがっこう
妹尾小学校

誰かや何かに「ありがとう」と感謝の心をもつことは素晴らしいことです。子どもたちが自分と向き合い、「ありがとう」を伝えたいのは誰か、どんなことに感謝したいかを、心に向けて考える機会をいただいたことに感謝します。「ありがとうございます」

中国
四国
ブロック

とくしまけん
徳島県
とくしまぶんり しょうがっこう
徳島文理小学校

「ありがとう」という感謝の心をもち、その輪を広げていくことにより、よりよい社会の構築につながるものと考えています。今後ともに、本校教育にこの心を位置づけ、子どもたちのよりよい人格形成に結びつけて参ります。

九州
沖縄
ブロック

かごしまけん あいらしりつ
鹿児島県 始良市立
あいら しょうがっこう
始良小学校

学校団体賞をいただきありがとうございます。本校の校訓は「思いやり」です。「思いやり」の行動の後に「ありがとう」の言葉がたくさん聞かれる学校になることを心から願っています。

九州
沖縄
ブロック

かごしましりつ
鹿児島市立
みなみ しょうがっこう
南小学校

「ありがとう」の言葉で人と人とがつながり、その場が明るくなり、お互いが幸せになれる、とても素敵な言葉です。これからも感謝の気持ちを大切に「ありがとう」の花をたくさん咲かせ、笑顔あふれるあたたかい学校でありたいと思っております。

— 「あなたと、コンビニに、ファミリーマート」のもと、地域に寄り添い、一人ひとりと家族のようにつながりながら、便利の先にある、なく

ファミリーマートだからこそできる持続可



「ありがとうの手紙コンテスト」

こどもたちの健全な成長、豊かな心づくりを目的とした次世代育成の取り組みです。2009年からスタートし、44万通以上の「ありがとう」が全国から寄せられています。2019年からは文部科学省後援事業となったことに加え、2022年には感謝の視点・表現において最も高い評価を得た作品に対して「文部科学大臣賞」が授与されています。過去には、受賞作品5作品が道徳の教科書に掲載されるなど、学校教育にも貢献しています。文部科学大臣賞・最優秀作品賞の表彰式は、受賞者が通う小学校にて開催しています。

ファミマフードドライブ

ご家庭で食べきれない食品を店舗へご持参いただき、地域のNPOなどのパートナーにご提供し、必要な方へお届けする、食品ロス削減と人と地域に寄り添う食支援を実現する取り組みです。全国2,693店舗で展開しています。(2023年11月20日時点)



ファミマ eco ビジョン 2050

「温室効果ガス(CO₂排出量)の削減」「プラスチック対策」「食品ロスの削減」の3つのテーマに基づき中長期的な数値目標を設定し、目標達成に向けた取り組みを進めています。



「ブルーグリーン」プロジェクト

「地球環境に良いこと、役に立つことを少しずつでもできることから実行していこう」という思いを込め、プロジェクトを発足し、サステナブルな商品を展開しています。



コミュニケーション支援ツール

聴覚・言語に障がいのある方や、ご高齢、外国人の方が快適にお買い物ができるように、スムーズなコミュニケーションを支援するサポートツールを全店で展開しています。



お客さま
てはならない場所へ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

あなたと、コンビニに、
FamilyMart

株式会社ファミリーマートは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

能な地域・社会づくりの実現を目指します。



出前授業・企業訪問「ファミマ学園」

未来を担うこどもたちに向け、ファミリーマート社員が講師となつて行う出前授業や企業訪問を行っています。小学生から高校生まで幅広い学年を対象とし「SDGs」や「キャリア教育」をテーマに身近なコンビニエンスストア・ファミリーマートの事業内容や取り組みなどを紹介しながら生徒の皆さまと一緒に知識を深め、自分や地球の未来について考えます。



ファミマこども食堂

店舗近隣にお住まいのこどもたちや保護者を対象に、参加者が一緒に楽しく食事をしたり、コミュニケーションを図ったりすることで、地域交流の活性化を応援する取り組みです。店舗のイートインスペースなどを活用して開催し、食事以外にも、こどもたちによるレジ打ち体験や商品陳列体験などお仕事体験も行い、参加者同士が楽しみながら交流を図っていただいています。



ファミリーマート夢の掛け橋募金

募金していただいたお客さまと、社会的活動を行うNGO・NPOとの「掛け橋」となる店頭募金です。お預かりした募金は当社の企業寄付(マッチングギフト*)と合わせて、国内外のこども・若者育成支援や環境保全活動などの事業に役立てられています。

株式会社ファミリーマート
(マッチングギフト*)

ファミリーマート
夢の掛け橋募金

全国の
店舗



寄付先と主な事業

- 公益社団法人
セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
- 特定非営利活動組織 国際連合世界食糧計画
WFP協会
- 公益社団法人 国土緑化推進機構
・ファミリーマート緑の募金(森の教室事業)
・共存の森ネットワーク(聞き書き甲子園事業)
・こどもたちの未来の森づくり事業
- 認定NPO法人
全国こども食堂支援センター・むすびえ

*マッチングギフト…企業寄付として募金総額に対して、一定の比率を掛けた金額を上乗せしています。

また、災害時には支援金募金として被災地域にお届けしています。

多様な性への 理解促進の取り組み

LGBTQの理解促進に取り組んでいます。レインボーカラーの商品(売上の一部を寄付)や社員・加盟店の同性パートナーシップ制度の導入など、様々な活動を行っています。





株式会社ファミリーマート
<https://www.family.co.jp>

ファミマ ありがとう

検索

